

議会だより

NO.14

 吉野川市



目次

代表・一般質問……………P 2

市民のページ……………P15

議案の審議から……………P10

市民の皆さんへの募集……P16

クイズ……………P13

「山門 第11番 藤井寺」 富永幸子 (川島町)

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883) 22-2242

2008.6.11

代表・一般

ここが聞きたい

質問

3月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 犬伏正春 議員

● 行財政改革について

○ 商店街の活性化について

○ 企業立地の推進について

○ 観光行政について

② 工藤俊夫 議員

○ 飯尾川改修について

● 都市計画の必要性について

○ 地方分権に伴う事務委譲について

③ 高木純 議員

○ 住宅新築資金貸付事業の滞納対策について

○ 指名業者の選定について

● 決裁事務について

● 市長と副市長の決裁権限の区分けについて

④ 枝澤幹太 議員

○ 市長の所信表明から

○ 次代を担う子どもの育成について

● 文部科学省の緑のグラウンド維持活用推進事業について

○ 特定健康診査、特定保健指導について

一般質問

⑤ 柴原五男 議員

● 企業誘致について

○ 観光行政について

○ 安全な農産物への取り組みについて

○ 駅前再開発について

⑥ 細井英輔 議員

● 乳児保育所のあり方について

⑦ 田村修司 議員

○ 平成19年度全国学力・学習状況調査を踏まえて

● 社会人に対するグラウンド・体育館の使用料について

○ 助成費のあり方について

⑧ 増富義明 議員

● 幼児期教育と子育て支援について

○ 市発注の工事について

⑨ 岸田秀樹 議員

● 安全・安心のまちづくりについて

○ 独居老人住宅の火災報知器の設置は

○ ケーブルTVについて

○ 行財政改革の取り組み状況について

⑩ 岡田光男 議員

● 環境対策について

○ 若い世代への支援策について

○ 庁舎統合について

⑪ 中山郁子 議員

● 有料広告について

○ 納税方法について

代表質問

犬伏正春 議員

(麻植会)



行財政改革の進捗状況は

実施計画に沿って推進

(質問)

(答弁)

◎質問 平成18年7月、行財政改革懇話会で行財政改革大綱が作成され、計画期間5か年で行財政改革推進主要事項が決定された。3か年が経過した現在の進捗状況を伺う。

○市民部長 効率的なゴミ処理計画の作成については、ゴミ処理を考えると、市民会議の提言書を尊重し、ゴミの減量化、資源化に努めている。

○総務部長 遊休地の有効活用については、公有財産活用検討委員会を設置し、遊休地は積極的に売却等を行う。

○健康福祉部長 指定管理者制度の導入については、18年度までに老人福祉センター4箇所、児童館、デイサービスセンター、ふれあい交流の家、介護支援センターの各1箇所を導入し平成20年度から養護老人ホーム芳越荘に導入が決定している。民間活力の導入については、19年度に養護老

は、研修制度、研修計画の確立で、地方分権社会の担い手にふさわしい人材を育成するため、現在市職員の研修に係る基本計画の策定に取り組んで

いる。



工藤 俊夫 議員
(清友会)

都市計画線引きの廃止は

十分に勘案し考えたい

(質問) (答弁)

◎質問 麻植郡時代の都市計画法により、鴨島町は大部分が市街化調整区域に指定されている。この規制により家屋が建たず、人口が減少しているのが現状である。

人口減少の傾向にある本市として、市街化区域並びに市街化調整区域の線引きについて廃止の方向で検討できないものか伺う。

◎建設部長 線引きについては今まで4回の見直しを行っており、その際には市の意見も反映されることになっている。市としては今後意見集約や情報収集等に努めてゆく。

◎再問 徳島県では8年

毎に見直しをしており、次回は平成23年に見直しをする。早く検討をしないと次は平成31年になる。

他県の取り組みを参考にし、線引きを廃止する方向で検討はできないか。

◎市長 線引き制度は都市計画制限の中でも最も厳しい。線引きを廃止したいという声の一方、少子、高齢化で将来的に大きな人口増が望めず、むやみに宅地を増やすべきではないという意見もある。昭和61年の線引き廃止への条件緩和以来、幾つかの市町村で廃止しているが、その後の追跡調査では予測とは逆の報告も伺っている。

徳島東部都市計画総括図(鴨島町)



この制度が大きな成果を残してきたことは事実である。しかしこの件に関しては区域、区分等の見直しを行い、その中で市としての特性、社会情勢等も十分に勘案し、慎重に考えたい。

「その他の質問」

◎質問 湯吸谷川排水機場、毎秒10トンの実現に向け取り組み意思があるのか伺う。

人ホーム天寿荘を民間へ移管している。

◎再問 財政についての実施計画と効果額を伺う。

◎総務部長 行財政改革実施計画の策定時においては、定員管理による削減で13億5、000万円、収納努力で1億8、000万円、財政効果額、歳入で3、600万円、歳出で21億5、400万円です。いずれも目標額を上回っている。

◎答弁 条件整備ができれば努力する。

◎質問 徳島県権限移譲事務の推進期間である5か年計画はどのようなものになっているのか。

◎答弁 対象となる事務事業ごとに所管部局と十分協議を行い検討していきたい。

「その他の質問」

◎質問 鴨島駅前商店街の活性化は。

◎答弁 関係団体と協議を続け制度等も検討する。

◎質問 企業立地推進本部の設置をしては。

◎答弁 必要性は考えているが調査研究する。

◎質問 阿波忌部氏を観光に生かすマップや案内板の作成は。

◎答弁 多くの史跡があり、観光振興に活用できるか検討する。





高木 純 議員
(日本共産党)

決裁事務が乱れている

(質問)

事務的ミス、今後気をつけたい

(答弁)

◎質問 平成18年度と19年度に市長決裁がないままに工事の契約にいたつたものが3件もある。副市長の代理決裁もない。どういふことか。

○水道部長 言い訳のできないミス、確認不足。深く反省し改めたい。

○市長 今後、決裁規定に沿った事務処理を徹底したい。

◎再問 市長決裁がないままに事務処理を進ませたのは担当部局のミスであるが、その背景には市長自身が決裁を軽んじているからだ。

18年度と19年度の建設工事の請負契約締結するための起案書を調べてみ

○市長 重要な事柄については適宜報告を受けている。私も改めるところは改めたい。副市長とも確認したところである。

【その他の質問】

◎質問 住宅新築資金等貸し付け事業の滞納対策の進捗状況は。

○答弁 一月に入り滞納

者の戸別訪問を開始し、徴収体制を整え取り組んでいる。

◎質問 建設工事発注での指名業者の選定が不透明。

○答弁 総合評価方式の導入を考えており、入札と契約業務の窓口も一本化したい。



学校グラウンドの芝生化は

(質問)

実現に向け方向性を出す

(答弁)



枝澤 幹 太 議員
(日本共産党)

◎質問 昨今、子供の体力、学力の低下が心配されている。それらを改善するために、屋外遊びやスポーツが安全で安心してできる環境づくりの一貫として、学校のグラウンドの芝生化を推進すべきだと考えるが。

○教育次長 体力、学力の低下の要因として生活の利便性、外遊び、スポーツの重要性の軽視、睡眠、生活習慣の乱れ等が関連している。これらの

◎再問 美馬市郡里小学

校で芝生化が実現している。面積4000㎡、苗代12万円、肥料代3万円、労力はPTA、スポーツ少年団、NPO法人、地域が一体となって行ない、この労力により、新緑が目によい、情緒も安定し、学力向上にも役立つ環境が提供できると考えるが。

○教育次長 学校のよりよい環境づくりはぜひ必要であると考えている。施設整備の充実という点で緊急性、必要性も十分考え検討していきたい。郡里小学校の芝生化の話は何っており、早急に調査し、実現に向けて、方向性を出したい。

一般質問



萩原五男議員

企業誘致のために専従職員を

担当課で対応

(質問)

(答弁)

◎質問 自治体の企業誘致競争が現在起きています。これは財政が厳しい中で新たな財源を確保するためのもので、各自治体は企業の世話をする専門チームを設けるなどして企業誘致に躍起になっている。本市も税金などの減少で財政が非常に厳しくなっており、将来の税金回復と雇用増を考え、製造業を中心に工場誘致などに力を入れるべきである。企業誘致や現在、本市にある企業などとの連携をはかるために専従職員を置く考えはどうか。

○産業経済部長 企業誘

致については平成18年度に吉野川市企業立地促進条例を見直し、優遇制度を設け、広報やホームページで公開している。専従職員配置については行財政改革で職員数も減少しているの、当面は現体制で対応せざるを得ない。今後は担当課で対応していきたい。

【その他の質問】

◎質問 地域再生への観光振興の一環でのグリーンツーリズムへの市の取り組みは。

○答弁 地域の住民や団体と連携して活性化に取り組んでいきたい。



大分県宇佐市の民泊先農家

※グリーン・ツーリズムとは、農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動です。

◎質問 安全な農産物への取り組みと売り込みPRは。

○答弁 JA麻植郡が安全確保のため、新鮮とくしまブランド戦略の一環として、販売促進を図っている。

◎質問 中心市街地活性化を行政主導で行っている。

○答弁 関係団体と協議しているが地元の理解が得られない状況。

【その他の質問】

◎質問 教育振興計画とは。

○答弁 基本構想で幼小中学校の適正規模、配置を示し、基本計画で、あるべき姿を示す。

◎質問 地域子育て支援拠点機能の整備とは。

○答弁 諸問題にワンストップで対応し、子供の健全な成長を促進する目的で設置。

◎質問 本市の特定健康診査の取り組みは。

○答弁 メタボリックシンドロームに着目し、保健指導を必要とする人を抽出するための健診となる。



芝生化された郡里小学校



細井英輔 議員

乳幼児の受け入れ対策は

(質問)

鴨島町内の保育所で検討

(答弁)

◎質問 平成20年度の保育所入所申込時において認可保育所のひかり乳幼児保育園の希望者が予定を大きく上回ったと聞きますが、市内の公立保育所、認可保育所の申込状況及び入所決定状況を伺う。

○健康福祉部長 全体で745名に対し623名の応募があり、鴨島中央保育所は、100名に対し93名、鴨島東保育所は、60名に対し56名、鴨島西保育所は50名に対し32名、鴨島呉郷保育所は70名に対し66名、川島東保育所は90名に対し52名、川島西保育所は45名に対し16名、川島乳児保育所は30名に対し17名、山川東保育所は80名に対し83名、山川南保育所は80

名に対し69名、山川北保育所は45名に対し13名、山川中保育所は45名に対し26名、ひかり乳幼児保育園は50名に対し100名の応募があった。ひかり乳幼児保育園は保育の実施選考会議で決定しその結果、2歳児については他の保育所をあっせんし、2歳児未満の児童は、福祉法に該当する児童や継続児、0歳児の入所を選考決定し、新規応募の1歳児については抽選により決定した。

◎再問 今後定数を大きく上回った場合、どのような対策を考えているのか伺う。

○健康福祉部長 平成21年度は希望の保育所に



田村修司 議員

公共施設の一般使用の無料化について

(質問)

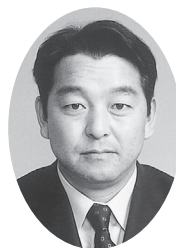
適切に運用していく

(答弁)

◎質問 旧川島町では、小・中学校の体育館、グラウンドを使用料無料で一般に開放していたが、合併により現在は有料になっている。電気代などの経費も必要であり、地域との公平性という点からも有料化は仕方ないことだが、利用頻度の高い少人数のグループにとっては、たとえ千円でも負担感が大きく、活動の休止を招きかねない状態であると聞いている。地域に開かれた学校、生涯教育、地域の活性化といった様々な側面、施設の有効利用の観点からも住民のスポーツ文化活動は行政として大いに支援すべきである。単に有料化するのではなく、活動を継続してもらいやすい

方法を探ってみてはどうか。例えば年間計画書や活動報告書を提出したグループや一定期間継続した活動を維持しているグループなどに減免措置を講じることも一策だと考える。地域活動を支える育てるために検討できないか。

○教育次長 本市では、市民の体力向上と市民相互の親睦を図る健全なレクリエーションのため公の施設を設置した。使用に際しては、受益者負担の原則に基づき条例で定めた一定の使用料を徴収している。減免制度は一定の政策的視点から必要であるが、受益者負担の適正化及び市民間の負担の公平性という観点か



増富義明 議員

幼稚園預かり保育、なぜ5歳児だけ

(質問)

総合的に検討し判断

(答弁)

◎質問 預かり保育は、教育の一環として行うべきであり、就学前の重要性から充実した保育になるよう質を高める必要がある。

預かり保育の事前の希望調査では、4歳児でもかなりの希望があったが、なぜ5歳児のみにしたのか。部屋がないから預かりをしないことは、希望する者にとつて幼稚園教育を受けさせない事になるのではないか。その責任は重いと思うが、今後の施策をどのように考えているのか伺う。

○教育次長 山川地区のアンケート調査の結果、4歳児5歳児合わせて69名の希望があり、多数の保護者が預かり保育を希

望しているという結果が出た。教育委員会では、施設・設備・人材等を総合的に検討した結果、幼児を預かつての安心安全の観点から受け入れる人数には制限があると判断し、今年度は5歳児のみを受け入れる事とした。また、今年度預かり保育を実施していく中で、その動向を見極めながら今後保護者の要望が少しでも受け入れられる方向で検討していきたい。

◎再問 保育所に指定管理者制度を導入する事は大変意味もある第一歩だと思ふ。同時に今大きな問題は入所率が激減している保育所の統廃合にも取りかかる必要があるのではないか。財政面だけ



市内の乳児保育所

入所できるよう対処したい。本年度のひかり乳幼児保育園入所希望は鴨島町が94名、川島町が5名、山川町が1名という状況

から、鴨島町内の保育所で充足率の余裕のある保育所で乳幼児の受け入れを検討したい。

【その他の質問】

◎質問 学校マニフェストを作ってはどうか。

ら、減免制度を適用する場合には市が主催または共催する行事に利用するなど市がやむを得ないものに限り適用するものである。使用料減免の取り扱いについては、引き続き本来的な負担の公平性が失われることがないよう留意しつつ、受益者負担の原則を徹底するため、適切な運用を図らなければならぬと考えている。



フットサル練習風景

◎答弁 各学校でマニフェストになりそうなものを仕上げている。

◎質問 本市として不妊治療助成に取り組む意志はあるか。

◎答弁 他市町村の状況を踏まえながら検討したい。

◎質問 子どもの健康と適切な医療についての研修制度を検討できないか。

◎答弁 適切な研修の機会を設ける。

でなく、これからの子どもたちには何が必要なのかを考えた時、大人数の中で子ども同士がコミュニケーションを取り、集団の決まりをつくり出し、自然に生きていく力を身に付けていく事が大事だと考えるが。

◎第二副市长 幼稚園・保育所等の統廃合を含めた基本構想を今年度中に策定することとしている。少子化・子育てに関するニーズの多様化とい

った一方で、幼稚園・保育所の施設の老朽化、耐震化という問題があり、それらの問題も解決しなければならず、今後保護者や市民の声を十分に聞きながら取り組みたい。

【その他の質問】

◎質問 市発注工事の検査等の見直しは。

◎答弁 6月初めに出る工事の審査基準等に基づき検討。





岸田 秀樹 議員

民がすることには官は介入しないのか

(質問)

民がすることには民に

(答弁)

◎質問 美郷・山川の過疎地におけるケーブルテレビについて、市として民がする所には官は一切介入しないというのは間違いがないのか。また厳しい財政状況の中で、民間活力の導入と活用をしていく気持ちはあるのか。

○市長 ケーブルテレビに限らず、非常に厳しい財政状況の中では、民がすることに對しては、是非お願したいというのが基本である。

◎再問 徳島中央テレビが1月24日に総務省に残りの地域についての申請を提出し受理されているのに、今議会に設計予算が提出されたのはなぜ

か。過疎地では民間が採算がとれないから官が施行しなければいけないというが、中央テレビは市全域で採算を考えているというのにかかわらず、市としても厳しい財政状況の中で設計予算を付け、工事金額も市がすれば3、000万円です。工事が完了すると言っているのに市民の税金をなぜ使おうとしているのか。

○第一副市長 中央テレビの契約約款には経営上困難な場合は加入の承諾を撤回できるという条項がある、加入希望者全員にサービスができないというのと、この地域は高齢者・低所得者の割合

が大きい。地球温暖化は、21世紀において人類が直面する重要な課題の一つであると言われている。本市においても市の総合計画の中で「省資源・省エネルギー対策の推進」を掲げており、「エコシティをめざした町づくりや新エネルギーの導入を進める」とある。どのように取り組んでいくのか伺う。



岡田 光男 議員

市の温室効果ガス削減計画は

(質問)

20年度に計画策定したい

(答弁)

抑制等についての計画策定に向けて現在は各施設における排出量を把握している段階である。

◎再問 「ゴミ処理を考える市民会議」ではプラスチックや発泡スチロールの分別、不要品の交換、剪定した枝の堆肥化など、ゴミの資源化やリサイクルの具体的な方法を示している。この提言を早急に行うことが地球温暖化防止にもつながると考えるが。

◎市民部次長 市民会議からは多くの貴重な提言を受けており、これを実行することが地球温暖化防止対策になると考えている。実現可能なものから本格実施に向けて計画

○総務部長 現在市役所内では①冷暖房の適正な温度管理、②休憩中や不在時の電灯の消灯、電気機器の節電、③夏場のエコスタイルの実施、④庁舎内で排出されるゴミの分別処理などの取り組みを行っている。平成20年度の「温室効果ガス排出

し順次取り組んでいきたい。

「その他の質問」

◎質問 小学校卒業までの子どもの医療費の無料化、工夫すれば財源はできるのではないかと。

◎答弁 1歳拡大するのに1、500万円が必要。

この状況を踏まえ、今後において検討したい。

◎質問 庁舎の一本化で16億円もかけて別棟を建てる必要があるのか。

◎答弁 長期的に見ると、増築にかかる投資以上の効果があると考えている。

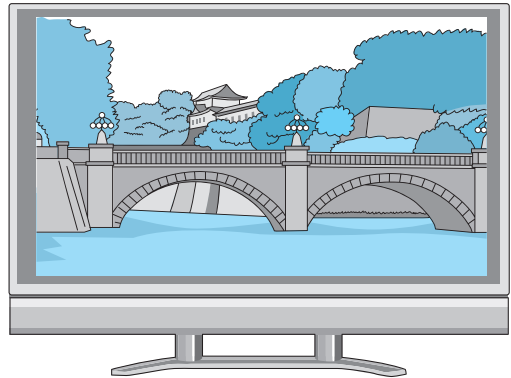


自転車で出勤する職員

◎質問 行財政改革の中で、基金を取り崩してまでなぜ箱物事業をするのか。

【その他の質問】

が多いので基本使用料が負担になるという声も聞いている。事業の推進を求める要望書が地元住民から市の方に提出されている。市としては総務省に意見書を提出している。市の意向をくんで、民間業者に許可を出さないかどうかの判断の結果を待ってから考える。



◎答弁 費用対効果を含めて検討する。

◎質問 雨水3号幹線の今後の計画は。

◎答弁 今回は見送るが今後前向きに検討。

◎質問 独居老人住宅の火災報知器の設置は。

◎答弁 老朽化した建物を建てるのは、改築であり、新築ではないと認識している。

◎質問 財政難の時でもあり、財源確保、また、地域産業の紹介にもなる広報「よしのがわ」や、市の各種封筒に有料広告を載せてはどうか。

◎総務部長 広報誌等への民間広告の掲載については、多額の収入が見込めるものではないが、近年極めて厳しい財政状況の中、自主財源の確保や地域経済の活性化などのため、地方自治体での取り組み事例が見られる。本市における有料広告は市のホームページ上でのバナー広告の実施を、本年4月から開始できるよう準備をしている。広報誌等の掲載には紙面に限りがあること、また封筒においても幾つか課題も

◎再問 紙面に限りがあるとのことだが、長い目で見ればページを増やしても広告を取って財源に充てるべきではないか。この件に関して視察に行った愛知県の愛西市では成果を出している。本市においてはバナー広告の応募状況を見て検討することのことだが、収入予定が少ない事業なので消極的な姿勢に感じるが、いかがか。

◎質問 紙面に限りがあるとのことだが、長い目で見ればページを増やしても広告を取って財源に充てるべきではないか。この件に関して視察に行った愛知県の愛西市では成果を出している。本市においてはバナー広告の応募状況を見て検討することのことだが、収入予定が少ない事業なので消極的な姿勢に感じるが、いかがか。

◎総務部長 少ないとはいえ、できる限り収入は確保していく。初めての事業のため、企業の需要

◎再問 紙面に限りがあるとのことだが、長い目で見ればページを増やしても広告を取って財源に充てるべきではないか。この件に関して視察に行った愛知県の愛西市では成果を出している。本市においてはバナー広告の応募状況を見て検討することのことだが、収入予定が少ない事業なので消極的な姿勢に感じるが、いかがか。

あると考えるが、4月からのバナー広告の応募状況を見極めて、検討をしたい。

あると考えるが、4月からのバナー広告の応募状況を見極めて、検討をしたい。



中山郁子議員

広報誌等に有料広告を

バナー広告の様子を見て検討

(質問) (答弁)

がどれだけあるか見極めて検討したい。

※バナー広告とは、インターネット広告の一種。Webサイトに広告の画像を貼り、広告主のWebサイトにリンクする手法。

◎質問 コンビニでも納税できるようにしては。

◎答弁 初期投資に多額の費用が必要等、多くの課題があり今後検討。

【その他の質問】

吉野川市 YOSHINOOGAWA

〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883)22-2222 FAX (0883)22-2244

● 分庁舎連絡先 ● 一覧サイトマップ ● 文字の大きさや色について

市長の室
市のプロフィール
市のしくみ
年間行事
市議会情報

吉野川市〇〇町〇〇〇〇〇〇
TEL〇〇〇〇〇〇〇〇 FAX〇〇〇〇〇〇〇〇

図書蔵書検索

申請様式ダウンロード

詳しくはこちらをクリック

空き家バンク
パブリックコメント
男女共同参画
頑張る地方応援プログラム

TOPICS
2008/05/19 船窪つつじ公園の開花状況 (5/19現在)
2008/05/19 市民生活課からのお知らせ

平成20年3月議会定例会

議案の
審議から

日程：平成20年3月3日～3月27日

3月定例会では、条例関係案15件、予算案18件、人事案1件、その他16件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

文教厚生常任委員会

▼平成20年度一般会計予算について

◎委員 シルバー人材センターの運営補助金が昨年より減額されている。団塊世代が大量退職を迎える時期にあつて、増額こそ必要でないか。

○答弁 減額の要因は、県補助金が無くなり減額したものであり、補助金のあり方については、市の基本額により実施するが、どうしても必要な経費については、随時考慮したい。



◎委員 学校給食費収入で1億6、100万円程度あるが、何食分か、またセンターでの中国産食



品 冷凍食品の使用はあ
るのか。

○答弁 中国産冷凍食品の残留農薬が検出されるなどの問題を受け、本市では、昨年9月から中国産の食材は使用していない。食材の安全確保については、地産地消を推進するとともに、農産物加工品検査報告書等により、チェックを強化していきたい。

◎委員 給食数は、20年度64万1、000食を予定している。

万円、備品購入費180万円予算計上しているが、しばらくは、建て替えは考えないといふことが。

○答弁 センターは、築34年を経過し老朽化しており、早期に改築をしたいと考えているが、今回の予算は、それまで施設を維持するための必要最小限の改修事業である。

◎委員 川田児童クラブの会場借り上げについての説明願いたい。

○答弁 20年度の、希望参加児童が40名程度と増加するため、使用していない麻植郡農協の支所を借り受けることとなった。改修事業は、本年度中に完成する予定である。

◇以上異議なしで可と決定

産業建設常任委員会

▼鴨島公衆温泉浴場事業特別会計条例を廃止する条例制定について

◎委員 特別会計を廃止し、一般会計の一般財源として取り扱われるのには何か根拠があるのか。

○答弁 監査委員からの指摘を受けて一般会計にしたが、一般会計の歳入を増やすために特別会計を廃止するという意味ではなく、直営である鴨の湯と上校温泉の特別会計の有無のアンバランスを解消するという意味のものである。

▼平成20年度一般会計予算関係部分について

◎委員 電子入札の予算内容について、また、今後の取り組み方について伺う。

○答弁 電子入札の内容についての職員の研修、県の施設を利用するライセンスの使用料を計上している。取り組み方については決まっていすが、監理担当の窓口で行う方向で考えている。

▼平成20年度水道事業会計予算について

◎委員 建設改良費で約3億4、000万円を計上しているが、どのような工事をするのか。

○答弁 水道課単独工事に2億5、000万円、下水道工事に伴う水道管布設替え工事に8、000万円、国・県の工事に伴う水道管布設替工事に2、000万円、消火栓設置工事に350万円、委託料に3、000万円を予定している。

◇以上異議なしで可と決定



総務常任委員会

▼吉野川市後期高齢者医療に関する条例制定について

◎委員 6条の滞納した場合につき、延滞金の金利が14・6%つくということだが、これは税金を滞納したときと同じと思う。また、7条あるいは8条の罰則規定についてこの6条から8条に関しては、介護保険等の罰則と同じなのか。

○答弁 後期高齢者、介護保険も保険料ということとで、同じような罰則規定にしている。保険税については、税ということとで若干の違いがある。14・6%の金利も介護保険と同様になっている。

◎委員 保険料徴収の時は何年か。

○答弁 介護保険と同じように2年で時効となると考えている。

▼平成20年度一般会計予算について

◎委員 森藤コミニティセンター新築工事は、地元対策と思うが、土地代

も含まれているのか。



○答弁 土地は無償寄付。場所は、壇のテニスコートの南側になる。

◎委員 資源・ゴミモデル集積場設置工事の設置場所は。また、最終処分場の水処理の修繕費で、800万円の内容について何う。

○答弁 資源・リサイクル品を集めて、随時集積者が来て集積してゆくシステムで、現在、各自治会で普及しているゴミかご集積所よりかなり規模が大きく、コンテナを置

き、ビン・カン等分別するようになる。山川町の山間部か美郷のどちらかに今後、自治会・関係課と協議し設置の方向である。最終処分場の水処理について、毎年2,000万円から3,000万円の改修をしている。鴨島の処分場は、汚水から塩を取り除いて河川に流すシステムであり、やめると塩が出ることもある。

◎委員 住基カードについて、あまり機能していないようだ。機械のリニューアル費用はかかっている。本市の場合はどういう状況か。

○答弁 住基カードは、3月1日現在で、294枚で0・64%、交付率は低い。パソコンによる電子申請ができるようになり、若干利用は増えつつある。



◎委員 清掃総務費について、市民会議で様々な提言がされているが、具体化されている予算は、モデル集積所だけである。予算編成しなくても、提言を先行できることがあると思うが、ゴミを減量化していく上での予算編成上の決意が見られない、決意はあるのか。

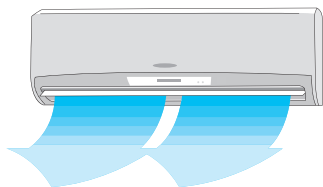
○答弁 環境対策特別委員会の中でも指摘があり、段ボールコンポストの啓発についてもその後協議をし、必要であれば予算に計上していきたい。

◎委員 八坂会館の冷暖房設置取替工事について、扇風機しかないので空調設備を整えるということ

だったが、どの部屋に付けるのか。

○答弁 生活改善室の空調を整備する予定で、夏休み等に子どもが料理教室をする際に、現在は扇風機で対応しているが、食の安全を考えてクーラーを設置するものである。

◇以上異議なしで可と決定



討論・採決

＝本会議＝

▼議第9号吉野川市高期高齢者医療に関する条例制定について

◇起立多数により可決

動議

▼議長 藤原一正君の議長不信任決議の動議について

■提出者

福岡 正議員
他12名

◎反対討論

岸田 秀樹 議員

○議長任期は6月から翌年の6月までの1年間ということである。前回においては横納議長が2か月早く退任したが、6月から6月までの1年任期と承知している。

議長自身は3月をもってやめるつもりであったが、2会派よりまだしばらくおつていただきたいという意見もあり苦渋の決断をしたものである。6月2日に議長を辞職するという辞職書類を私も確認しており、約束ど

おり6月をもってやめることがはっきりしている。よって不信任決議は必要ないと考えるものである。

◎賛成討論

枝澤 幹太 議員

○平成19年3月の代表者会において議会三役と委員会構成は1年で交代することを申し合わせている。これは紳士協定であり人間として守るべき約束事である。前任の横納議員が2か月早めてやめたと言われたが、これは後々のことを考えて3月議会から3月議会までとする方がいいだろうということである。そういうことを踏まえてよく考えていただきたい。みなさんの良識を期待して賛成の討論とする。

◇起立多数により可決



▼吉野川市防災特別委員会の解散について

◎反対討論

増富 義明 議員

○今、3月議会の防災対策特別委員会において、市の防災対策の目的は達成でき、今後は総務常任委員会での審査にゆだねるということで、委員会による決定は尊重するが、私的にはまだ当初の目的を達成していないと考える。南海地震の発生率も高まり、異常気象による風水害の発生も危惧されている。市民の生活の安全を守り、安心して暮らせる環境の実現のためにも委員会の存続が必要であると考える。まず①全国最下位の公共施設の耐震化率をあげるための取り組み、②自主防災組織の育成、③災害時における連絡、伝達等の体制の強化、市、議会、職員、ボランティアとも交流を図り、相互応援協定の充実。以上の充実を図るためにも防災委員会として取り組むべきであると考える。よって今回の解散に反対するものである。

◎賛成討論 なし

◇挙手多数により可決

意見書

▼道路特定財源の確保に関する意見書

■提出者

近久 善博 議員

◎反対討論

岡田 光男 議員

○日本共産党市議団は市民生活と地域経済の発展に不可欠な道路の建設とそのために必要な財源確保を否定するものではない。意見書では、道路建設がおくれていることや、暫定税率が廃止されれば吉野川市では2億6,000万円の減収となり、その分教育や福祉にも影響がでくるとしている。しかし、2億6,000万円の交付金を受け取るために吉野川市民がどれだけ負担しているかという点、計算では7億4,000万円となる。この差額が川島にある国道192号線

沿いに建設した堤防沿いの側道など、むだな道路建設に使われている。ある新聞の社説でも道路ばかりつくっても人口が急減したのでは意味がない、少子化対策こそ中期計画が欲しいと載っている。

これから先10年間で59兆円も道路建設に使うという総額ありきを撤回し、本来に必要な市の道路予算を確保し、市民生活関連予算の財源確保のためにも道路特定財源の一般財源化や、国の税金の集め方や使い方を国本位・地方重視に改めるよう求めるべきだと思う。各位のご賛同を心からお願ひし討論とする。

◎賛成討論

山下 智 議員

○国会では道路特定財源の暫定税率延長等をめぐる法案の審議が行われており、法律が成立しない場合には地方税、地方譲与税が大幅に減少するとともに、国からの地方道路整備臨時交付金が廃止となり地方の道路整備や補修に大きな支障が生じ

ることとなる。平成19年度予算ベースでも、吉野川市は2億6、000万円も減少となる。暫定税率を廃止してガソリン価格を下げるべきとの意見もあるが、県民は一世帯当たり年間9万5、000円と東京や大阪に比べて3倍も多く税を負担しており、徳島県など地方に道路整備の順番が回ってきただのに廃止されるのではあまりにも不公平と言わざるをえない。

現在県内の道路改良率は62・4%、全国平均の82・2%とは大きな開きがある、またスムーズに走れる割合を示す整備率も47都道府県中46位であり県内の道路整備は道半ばである。

地方の道路事業は特定財源だけでは足りず、一般財源や地方債を充てているのが実情であり、一般財源で賄われている教育や福祉など他の分野にも影響が懸念される。以上、全国平均より20%も低い道路改良率である徳島県の実情や逼迫する地方財政等を勘案の上、意

見書へのご同意をお願いし、討論とする。

◇挙手多数により可決

▼発議第1号、地上デジタルテレビ放送「阿波中継局」に関する意見書

■提出者
増富 義明 議員

▼発議第2号、地方財政の充実・強化を求める意見書

■提出者
北川 麦 議員

◇以上異議なしで可決



クイズ

○の中に入る漢字は？

- ① 一〇〇士
いちげんこじ
- ② 有〇〇変
ういてんぺん
- ③ 〇紫〇明
さんしすいめい
- ④ 〇霜〇日
しゅうそうれつじつ
- ⑤ 〇十〇折
つづらおり
- ⑥ 〇者一〇
ひんじゃいつとう
- ⑦ 〇芸〇食
むげいたいしょく
- ⑧ 〇終之〇
ゆうしゅうのび

◎（前回の答え）①すみれ ②ときそう ③きんもくせい ④たんぼ
ぼ ⑤つつじ ⑥こおろぎらん ⑦だるまぎく ⑧きんせんか

応募総数は68通でした。

◎正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

◎応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局までお送りください。

◎送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島1-15-1

TEL 0883-22-2241・FAX 0883-22-2242

◎締め切り日／平成20年7月10日

チヨットひと言

☆家族みんなで辞書を調べました。悪戦苦闘しましたが、わかったときはスッキリしました。

（鴨島町 横山さん）

☆ちよっとと難し過ぎると思います。もっと一般向けにしてもらえたら応募数も多くなるのではないかと思います。当選したらいい記念品なのかな。楽しみに待つことにします。

（山川町 谷本さん）

環境対策特別委員会

出席議員7名

協議事項

▼ゴミ減量等、今後の計画について

◎質疑 雑古紙を集める
と資源になるが、家庭での収集の仕方が定着していないので、雑古紙を入れる袋を作るなどしてはどうか。また、資源ゴミの回集が市の財政にとっても、資源を大切にしなければいけないという意味でも、市民に普及することを優先させる必要があるのでは。

○答弁 ゴミの出し方の
実演講習を現在でもしているが、その際に雑古紙についての説明をしていきたい。袋については市内全域の共通袋を作っていく方向で検討中。

今後市民の方々にご協力をいただき、資源リサイクルが増えていく方向で努力したい。

◎質疑 自治会、自主防

災会等の会合に積極的に
出て、数多くの場所です
明しないとは浸透してい
かないのではないか。そ
のために必要な職員数
は確保できているのか。

○答弁 市の行政改革で
職員数の削減をしている
ので、人員を直ちに増や
すのは難しいので、担
当部局で工夫をしてもら
いたい。

◎質疑 ゴミ集積場につ
いて、具体的に市内で何
箇所するか決まっている
のか。

○答弁 本年度は資源モ
デル集積所設置工事費と
して1箇所の設置で計上
しているが、そこに集中
的に資源ゴミが集まるよ
うな工夫をしたい。

防災特別委員会

出席議員7名

審査事項

▼自主防災会の取り組み状況及び方向性について

▼防災訓練計画について

平成20年度3月末日に
おける、吉野川市の自
主防災会の結成状況は46
組織、加入世帯で13、
927世帯で組織率81.
7%であり、残りの未組
織地区は鴨島地区で4箇
所、川島地区で5箇所
あります。その内、自主
防災設立総会の準備をし
ているのが鴨島地区で4
箇所、川島地区で2箇所
です。本年の5月末ごろ
には組織率は90%を超
えるものと思っています。

吉野川自主防災会連合会
については、すでに「山
川自主防災会連合会」が
平成18年に結成されてお
り、残りの地域において
も防災会連合会を結成す
るとともに、早期に吉野
川自主防災会連合会協議
会を発足して、市全体と

しての防災活動を呼びか
けていくつもりです。

本市の自主防災会の活
動状況は19年度4月から
20年度2月末現在で、訓
練を50回実施し参加人員
は4,920名となつて
おり、訓練には防災局の
職員をはじめ消防署や地
元の消防団にも協力をお
願いして共に訓練を実施
しております。

大規模災害時に「吉野
川市災害ボランティアセ
ンター」が迅速に設置さ
れる体制づくりを進める
必要がある。そのため
に、防災センター・県社
協が行う「災害ボランテ
ィアコーディネーター講
習会」、また、県におい
ても「地域防災推進員養
成研修会」・「自主防災組
織リーダー研修会」など
が開催されており、地域
の防災活動に行政と協同
して取り組んでいける人
材の確保のために防災リ
ーダー等を養成していく
ことが今後の課題である
と考えています。全県下
的にも防災啓発活動が展
開されており、本市にお
いても市民運動としての
防災活動が展開できれば

と考えています。

◎質疑 県が行ってい
る「防災推進員養成研修
会」・NPO団体が行つ
ている防災に関しての高
度な研修講座「防災士」
などの資格を自主防災会
の中から何人かを毎年送
り出せないのか。

○答弁 自主防災組織に
お願ひするにも、旅費・
日当・受験費用の予算化
ができていないので、講
習会等の案内及び自主参
加を呼びかけるしか方法
がない。

◎提案 防災特別委員会
について、自主防災組織
も90%を超えたという事
なので、今後総務委員会
に委ね、自主防災会の会
長を交えて相談会をつ
くっていけばどうか。

○回答 防災特別委員会
の審査を終了の提案があ
りましたが、各委員はど
うでしょうか。

◇結果 賛成6名反対0
名により防災特別委員会
の審査は終了することに
、可決されました。



桑村西自主防災会設立総会

市民のページ

合併は「吉」と出るか「凶」と出るか

川島町乗村 川村 和子

「平成の大合併」の検証に取り組んでいる徳島新聞の県内の首長のアンケートで吉野川市長は

「合併のメリットを実感している」そして「デメリットは起きていない」と答えられ「合併は成功」ということであった。

合併に並行して三位一体の改革も推進されたが、その中身である国庫からの収入がいくらか減るのか、どれだけ税源が移譲されるのか、地方交付税はどれくらいの額になるのか、詳しいことは解らないままに「合併」と「三位一体」の渦に巻き込まれてしまったのです。合併と三位一体の行きつく所は、国の負担を減らしそのしわ寄せを地方に持っていく、と今に

なつてはそういう認識しか持てないようになりました。

旧川島町でも生涯学習の町を宣言し、かなりの公会堂や集会所が建設されましたが、現在ではその数を減らすことに懸命のように見受けられます。利用価値がなかったり、耐用年数をかなり過ぎ多額の維持費が掛かるものはやむを得ない事でしょう。しかし吉野川市の財政は健康体であると言われ乍ら、旧鴨島町のシャッター通りと化した街は犬猫の溜まり場となり、至る所に目立つ休耕田では途方に暮れた農夫が竹み、老朽化した古い幼稚園では思いつきり遊べない園児がいら立ち乍ら過ぎしております。

合併は小さな町村から大きな市となりその格の向上とイメージアップにつながると楽しみにしていました。しかしな

り振り構わず合併を誘導したために農村部や山間部の方がはるかに広い市となつてしまいました。それが行政の目の届かぬところとなり過疎化の進行と地域の崩壊を招くのではないかと心配になります。まず合併ありきで住民に不利な事は隠し、議論も詰めず、ひたすら住民の抵抗をやわらげる必要があった、と当時の合併協議会委員が暴露されましたが、当時にその勇気が欲しかったと残念でなりません。それでも「合併は成功だった。」と断言された

市長の真意はどういうものか知りたいたいと思いません。また、声として聞こ

えてこない市民の不安、苦しみ、悲しみ、怒りの声に耳を傾け市民が心から「合併は成功だった」と実感できるように必死になつて考え、実行し、頑張ってください。

市役所では専門職の採用や増強がなされており、ます。それによつて職員間の競争が促され、有能な職員が登用され、それが職員のレベルアップとなり、ひいては市民生活の向上につながるものと確信し期待しております。



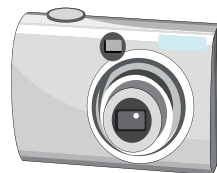
船窪のつつじ

募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など
- 規 定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 原 稿 料** 5,000円
- 締め切り** 平成20年7月10日（消印有効）
発行は8月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

表紙の写真

募 集



1月いぬ、2月逃げる、3月去る、と昔の人はよく言ったものである。今年もあつという間に3か月が過ぎ、4月の桜の季節も走り去り、今は新緑がすがすがしく、若葉が心を和ませてくれる。若葉を見るたび「希望」という二文字が浮かぶ。寒

あ と が き

い間、葉を落とし、寒さに耐え^{しの}いでいる木が春になるといつの間にか、やわらかい黄緑色の葉っぱをつける。人生もまた同じ。国政においても今は冬。しかし、いつまでも冬ばかりではない。またそうさせてはならない。いつかは今の若葉のように希望をもって心豊かな生活ができる世の中になければと思う昨今である。

中山 郁子

市民の皆さんの声を掲載

： 規 定 ：

● 原稿用紙2枚以内（4000字詰）
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記（匿名の場合も）

● 締め切り

平成20年7月10日（消印有効）

* 投稿多数等で掲載できない場合は、

ご容赦ください。校正等は、吉野川

市議会広報特別委員会で行います。

： あて先 ：

〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL 0883-22-2241

FAX 0883-22-2242

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。